予　　算　　明　　細　　書

初（次）年度　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | １日平均 | １か月平均 | １年（　か月） |
| 入院患者数 |  |  |  |
| 外来患者数 |  |  |  |

（注）

１　入院患者数（１年）＝入院患者数（１日平均）×365（366）日

　２　外来患者数（１年）＝外来患者数（１か月平均）×１２月

　３　初年度の月数に注意すること。

（収入）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科目 | 金額 | 内容説明 |
| 医業収入  　入院収入  　　自費収入  　　社会保険等収入  　　室料差額収入  　外来収入  　　自費収入  　　社会保険等収入  その他  医業外収入  受取利息  その他  借入金  拠出金等  前年度繰越金 |  | 平均　　　円×年間　　　　人  平均　　　円×年間　　　　人  平均　　　円×年間　　　　人  平均　　　円×年間　　　　人  平均　　　円×年間　　　　人  集団検診料、診断書発行料等  預託金の利息  従業員、付添人等の給食収入等  銀行等からの借入金  現金、預金、医業未収金の合計  （次年度のみ） |
| 計 |  |  |

（作成上の注意）

１．初年度・次年度の２年分を分けて作成すること。

なお、初年度が６か月未満の場合は、次々年度を含め３か年分作成すること。

２．不要な科目は削除しても差し支えないこと。

また、「その他」のうち金額の多いものについては、当該収入を示す名称を付した科目をもって計上しても差し支えないこと。

３．事業計画及び予算総括表の内容及びと一致させること。

４．各科目の1,000円未満の端数については、四捨五入しても差し支えない。ただし、各科目の合計等の計算結果については正しくなるように調整すること。

　５．自賠法及び労災法による診療収入は、自費収入に入れること。

　６．収入については、初年度は拠出金があるが、次年度にはこれがなく（拠出があれば別）、代わりに前年度繰越金が入る。

　７．開設する医療施設ごとに作成すること。